

経営比較分析表（平成29年度決算）

兵庫県 三木市

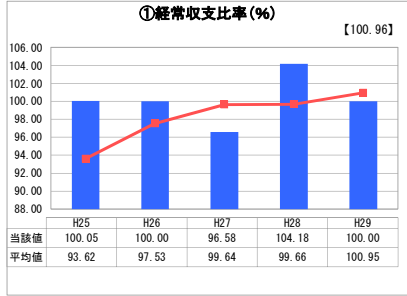
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)
-	41.40	1.95	99.79	2,592

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
78,414	176.51	444.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,524	2.33	654.08

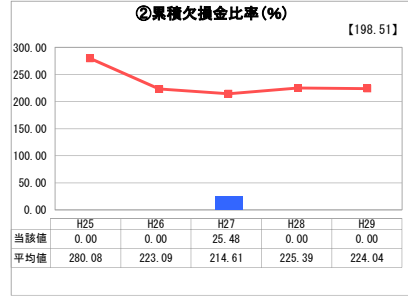
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

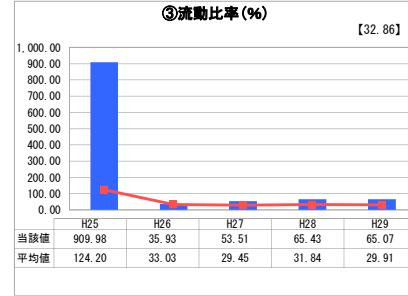
1. 経営の健全性・効率性



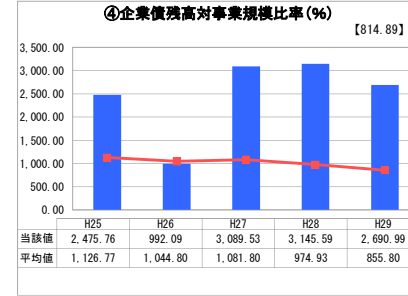
「経常損益」



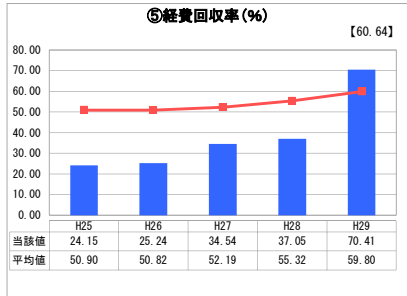
「累積欠損」



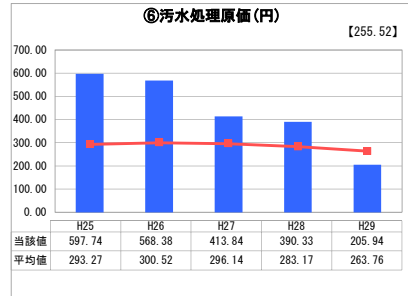
「支払能力」



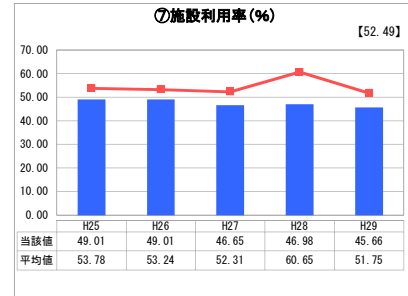
「債務残高」



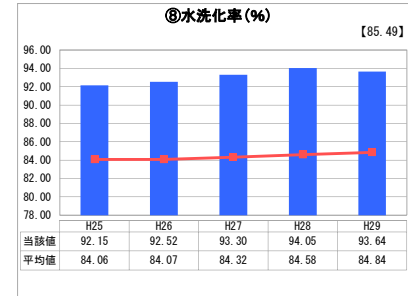
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

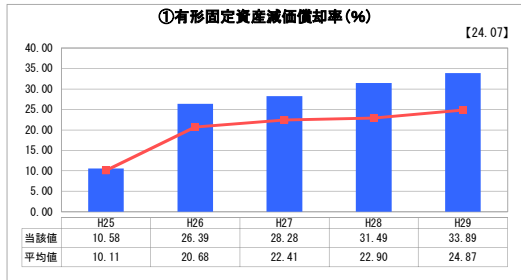


「施設の効率性」

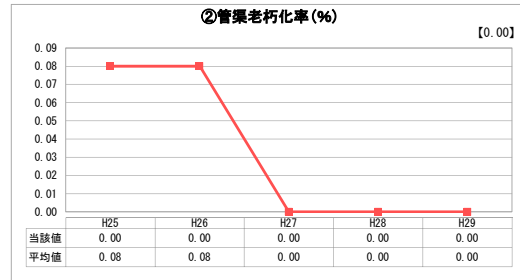


「使用料対象の捕捉」

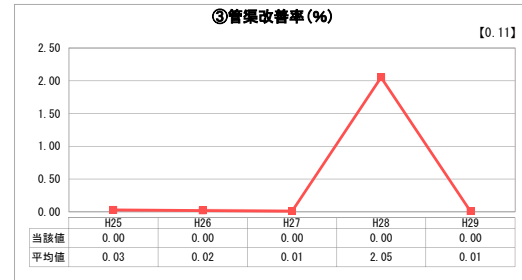
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は100%だが、類似団体平均をやや下回っているため、今後も引き続き効率的な運営を推進していく必要がある。
- ② 累積欠損金は発生していない。
- ③ 流動比率は、類似団体平均より高いものの100%を下回っており、現金預金等の資金が十分に確保されているとは言えない。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を上回っており、更なる企業債の削減が必要である。
- ⑤ 経費回収率は、類似団体平均を上回っているものの100%を下回っており、適正な使用料収入の確保及び経費削減が必要である。
- ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均を下回っているが当市の公共下水道事業や特定環境保全公共下水道事業と比べると高い水準となっているため、抜本的な経営改善が必要である。
- ⑦ 施設利用率は、類似団体平均より下回っており、類似団体と比較では効率的な施設利用ができていない。
- ⑧ 水洗化率は、類似団体平均より上回っているが、既に下水道整備が完了していることから今後は大幅な上昇は見込めない。

2. 老朽化の状況について

現在5施設ある農業集落排水処理施設のうち最も早く供用を開始した施設が平成10年であり、供用開始からの経過年数が浅いため、管渠の老朽化は見受けられない。ただし、分析表の指標には無いが、施設については、今後、管渠より早く耐用年数が経過することから、計画的な長寿命化対策が必要となってくる。

全体総括

健全な経営を行うためには、市町合併により6施設となった農業集落排水処理施設の統廃合を行う等の抜本的な経営改善が必要であったため、平成22年度に下水道統廃合計画を策定し、公共下水道への統廃合により農業集落排水処理施設を最終的に2施設にまで減らす計画を進めており、平成28年度から農業集落排水処理施設1施設が統廃合により廃止となった。また、平成30年度末には農業集落排水処理施設1施設を公共下水道への統廃合を予定しており、今後も施設の統廃合等の抜本的な経営改善により、経営の効率化を図る予定である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠更新改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。